

## 指導と評価の年間計画（歴史総合）

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科目	歴史総合	学年	2年	指導クラス	2年1組・2組・3組	
単位数	2	使用教科書	詳述歴史総合（実教出版）		副教材・問題集等	詳述歴史総合 徹底整理演習ノート（実教出版）

### 1. 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2. 評価の観点の趣旨

知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組み態度 c
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	オリエンテーション		1	・歴史総合の学習における心構えなどについて理解する。	・行動観察 ・プリント			○
	歴史の扉 絵画資料を読み解く		1	・高校の歴史学習の動機付けと以後の学習に必要な歴史学習の基本的な技能や学び方を身につける。		○		
第1編 近代化と私たち								
4	近代化への問い	移民	1	・グラフなどを活用して情報を読みとったりまとめる技能を取得し、人々の生活や社会のあり方が近代化にともない変化したことについて理解し、文章で表現する。	・行動観察 ・プリント		○	○
	第1章 近代化への胎動	1 ヨーロッパの海外進出と市民社会 2 清の繁栄 3 東アジア諸国間の貿易 4 江戸時代の日本の対外政策 5 江戸時代の社会と生活	5	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解させる。 ・18世紀のアジア諸国とヨーロッパ諸国の経済が互いに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・レポート		○	○
5	第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成	6 イギリス産業革命 7 アメリカ独立革命 8 フランス革命とナポレオン 9 ウィーン体制 10 19世紀のイギリスとフランス 11 イタリア・ドイツの統一 12 東方問題と19世紀のロシア	7	・産業革命と交通・通信手段の革新、工業化と世界史上の形成、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 ・産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、欧米諸国の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・行動観察 ・プリント ・レポート		○	○
		13 アメリカの発展と分裂 14 世界市場の形成	2					
前期中間考査								
6	第3章 アジアの近代化	15 イスラム世界の改革と再編 16 南アジア・東南アジアの改革と再編 17 アヘン戦争の衝撃 18 ゆらぐ幕藩体制 19 開国 20 幕末政局と社会変動 21 新政府の成立と諸改革	7	・日本の開国、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・レポート		○	○
		22 富国強兵と文明開化 23 近代的な国際関係と国境・領土の画定 24 自由民権運動の高まり 25 立件国家の成立	4					
7	第4章 帝国主義の時代	26 帝国主義と世界分割 27 帝国主義期の欧米社会 28 条約改正	3	・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解させる。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・レポート		○	○
		29 日清戦争 30 日露戦争から韓国併合へ 31 日本の産業革命と社会問題 32 アジア諸民族の独立運動・立憲革命	4					
第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち								
8	国際秩序の変化や大衆化への問い	アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭	1	・グラフなどを活用して情報を読みとったりまとめる技能を取得し、人々の生活や社会のあり方が国際秩序の変化や大衆化にともない変化したことについて理解し、文章で表現する。	・行動観察 ・プリント		○	○
	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	33 緊迫する国際関係 34 第一次世界大戦 35 ロシア革命とシベリア出兵	3	・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解させる。	・行動観察 ・プリント ・レポート		○	○
前期期末考査								

10	36 大戦景気と米騒動 37 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 38 西アジア・南アジアの民族運動 39 東アジア・東南アジアの民族運動 40 戦間期の欧米 41 ひろがる社会運動と普通選挙の実	5	・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。	・行動観察 ・プリント ・レポート	○		
11	第6章 経済危機と第二次世界大戦 43 世界恐慌 44 ファシズムの時代 45 満州事変と軍部の台頭 46 日中戦争 47 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 48 戦争と民衆 49 敗戦	2   7	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解させる。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解させる。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・レポート	○	○	
12	後期中間考査 50 国際連合と戦後世界 51 戦後と占領の始まり 52 民主化と日本国憲法 53 冷戦の開始 54 朝鮮戦争と日本	5			○	○	
第3編 グローバル化と私たち							
	グローバル化への問い 食料と人口	1	・グラフなどを活用して情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、現代のグローバル化について理解し、文章で表現する。	・行動観察 ・プリント		○	○
1	第7章 冷戦と脱植民地化 55 冷戦対立の推移 56 植民地の独立と第三世界の出現 57 米ソ両陣営の動揺 58 日本の国際社会復帰と高度経済成長	4	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを基に、国際政治の変容を理解させる。 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、日本の高度経済成長の背景と影響、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・レポート		○	○
2	第8章 多極化する世界 59 石油危機と世界経済 60 緊張緩和から冷戦の終結へ 61 地域協力の進展 62 日本の経済大国化	4	・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解させる。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・レポート		○	○
	第9章 グローバル化と現代世界 63 冷戦体制の終結 64 地域紛争と世界経済 65 グローバルな認識へ	4	・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解させる。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・行動観察 ・プリント ・レポート		○	○
3	学年末考査				○	○	
		70					